

## 第2学年1組 国語科学習指導案

指導者 園田 好弘

1 単元名 どうぶつのひみつをしらべよう 「ビーバーの大工事」(東京書籍)

2 目標

- ビーバーの巣作りに関心をもち、書かれている事柄の順序を考えながら進んで読もうとしている。  
(国語への関心・意欲・態度)
- 書かれている事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことができる。(読むこと)
- 文の意味を理解するとともに、文の中の主語と述語の関係をとらえることができる。(言語事項)

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	エ 読むこと	オ 言語事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビーバーの巣作りに関心をもち、書かれている事柄の順序を考えながら進んで読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書かれている事柄の順序を考えながら内容の大体を読んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文の意味を理解するとともに、文の中の主語と述語の関係をとらえている。</li> </ul>

4 指導と評価の計画 (8時間扱い)

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準
一	1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 単元の学習課題をつかむ。</li> <li>2 ビーバーの巣の写真と題名から想像したことを話し合う。</li> <li>3 教材を通読し、順序の大体をつかむ。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実物大の写真を提示することで、巣やビーバーを具体的にイメージしたり、教材への興味を高めたりする。</li> <li>○ 本文を一文ごとに並び直したワークシートを用意する。</li> <li>○ 巣作りの過程を示した4枚の写真を用意して、それを並び換えることで、大まかな順序をつかみ、順序性を意識できるようにする。</li> </ul>	<p>ア 教材文に関心をもち、書かれている事柄の順序を考えながら進んで読もうとしている。 (観察・発表)</p> <p>エ 順序の大体をつかんでいる。 (ワークシート)</p>
二	1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文と主語・述語の意味について学ぶ。</li> <li>2 ビーバーの作業が表されている文を一文ずつ書き抜く。</li> <li>3 一文を二つ以上の作業に分けられるものがないか考え、カードを書く。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文が書かれたワークシートに、一文ずつ番号を付けることで、一文を意識しながら書き抜けるようにしたり、全文中のどこにあるかを確認しやすしたりする。</li> <li>○ 書き抜くためのカードを用意することで、順序の並び換えが容易にできるようにする。</li> <li>○ 作業を表すかどうか迷った文については、カードに印を付けて書き抜くことで、検討課題を明確にできるようにする。</li> </ul>	<p>オ 文の意味を理解するとともに、主語・述語の関係を考えながら作業を表す文を書き抜いている。 (カード・観察)</p>
	2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ビーバーの作業が表されている文をグループで話し合う。</li> <li>2 巣が完成するまでのビーバーの作業の順序を考える。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主語と述語にサイドラインを引くことで、ビーバーが行っている作業なのかを確かめられるようにする。</li> <li>○ 次時から、話し合いを通して作業を表す文を加えるときは、黄色のカードに書くようにし、自らの学習活動を振り返ることができるようにする。</li> </ul>	<p>オ 主語・述語の内容を考えながら作業を表す文を選んでいく。 (観察・発表)</p> <p>エ 作業の順序を考えながら読んでいる。 (ワークシート)</p>
	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ビーバーの作業の順序を、グループで話し合う。</li> <li>2 「木を倒す」場面について、本文の内容に合う絵や実物を選ぶ。</li> <li>3 見出しで内容をまとめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 順序を話し合う際には、根拠となる言葉を取り上げながら話し合うように助言する。</li> <li>○ 動作化に必要な材料を選び、その根拠となる言葉を挙げながら動作化することで、作業の始まりを確かめられるようにする。</li> <li>○ 3枚の絵から木をかじる動作を選び、その根拠となる言葉を挙げながら動作化することで、木を切り倒す様子について内容の理解を深められるようにする。</li> </ul>	<p>エ 作業の順序を考えながら木を倒す場面の内容を読んでいる。 (ワークシート・発表・観察)</p>
	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「木を運ぶ」場面について、本文の内容に合う絵や実物を選ぶ。</li> <li>2 見出しで内容をまとめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動作化に必要な材料を選び、その根拠となる言葉を挙げながら動作化することで、順序を確かめられるようにする。</li> <li>○ 3枚の絵からビーバーの体の様子を選び、その根拠となる言葉を挙げながら説明することで、上手に泳ぐ理由について、内容の理解を深められるようにする。</li> </ul>	<p>エ 作業の順序を考えながら木を運ぶ場面の内容を読んでいる。 (ワークシート・発表・観察)</p>
	5 (本時)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「ダムを作る」場面について、動作化に必要な材料を選び動作化する。</li> <li>2 見出しで内容をまとめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動作化に必要な材料を選び、その根拠となる言葉を挙げながら動作化することで、順序を確かめられるようにする。</li> <li>○ 3枚の絵からダムが完成した様子を選び、その根拠となる言葉を挙げながら説明するこ</li> </ul>	<p>エ 作業の順序を考えながらダムを作る場面の内容を読んでいる。 (ワークシート・発表・観察)</p>

6	とめる。	とで、ダム作りの様子について内容の理解を深められるようにする。	
7	1 「巣を作る」場面について完成した巣の図を選ぶ。 2 見出しで内容をまとめる。	○ 3枚の絵から巣が完成した様子を選び、その根拠となる言葉を挙げながら説明することで、巣作りの知恵について内容の理解を深められるようにする。	エ 作業の順序を考えながら巣を作る場面の内容を読んでいる。 (ワークシート・発表・観察)
三	1 ワークシートを完成させ、全体の内容の大体をとらえる。 2 自分で題名をつける。	○ ワークシートを完成させることで、一つの内容を説明するのにも順序があることをとらえられるようにする。 ○ 自分の立場を明確にし、根拠を挙げることで、自分なりの題名を書けるようにする。	エ 作業の順序を考えながら全体の内容の大体をとらえている。 (ワークシート・発表・観察)

5 本時の学習

(1) 目標

「ダムを作る」場面について、書かれている事柄の順序を考えながら内容の大体を読むことができる。

(2) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点と評価 (◎個への対応)
<p>1 本時の学習課題と学習の進め方を確認する。 &lt;全体&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ビーバーの作業」の順序に気を付けながら書いてあることをグループで考えよう。</p> </div> <p>2 動作化しながら順序を確かめる。 &lt;グループ&gt;</p> <p>(1) 動作化に必要な材料を選ぶ。</p> <p>(2) 根拠となる言葉を具体的に挙げながら動作化し、順序と材料を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[着目させたい言葉] 「くわえたまま」、「もぐっていく」 「そうして」、「とがった方」 「さしこんで」、「上に」 「小えだ」、「積み上げ」 「おもし」、「どろ」 「かためて」</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[読み取らせたい順序] ・木をくわえたまま水に潜る ↓ ・木のとがった方を川の底に差し込む ↓ ・小枝を積み上げる ↓ ・石で重しをする ↓ ・どろでかためる</p> </div> <p>(3) 材料の正否と順序を確かめられたら全体で話し合い、正しい順序・材料を確認する。</p> <p>4 学習の振り返りとまとめをする。 &lt;個人&gt;</p> <p>5 次時の学習課題を知る。&lt;全体&gt;</p>	<p>○ 前時の学習を振り返り、グループで話し合った「ビーバーの作業の順序」を基に、本時は「ダムを作る」場面について順序を考えていくことを確認する。</p> <p>○ 動作化に必要な材料を選択し、その根拠となる言葉を挙げながら動作化することで、順序を確かめられるようにする。</p> <p>○ 活動がしやすいように体育館で行い、児童は筆記用具とワークシート(本文を一文ごとに並べ直したものと作業が書き抜かれた順序カードを張ったもの)を持参する。</p> <p>○ 動作化の活動に入る前に、グループで考えた順序と根拠の相違点を全体で振り返り、順序と書かれている事柄とのかかわりを意識できるようにする。</p> <p>○ 材料は各班ごとに用意しておく。</p> <p>○ 動作化しながら作業内容の過不足、順序の正否、材料の適否を確かめる際には、理由となる言葉を具体的に挙げて説明することを約束し、叙述を根拠に話し合いができるようにする。</p> <p>○ 各班ごとに新しいカードを用意しておき、ビーバーの作業に付け足しがある場合に書けるようにしておく。</p> <p>○ 理由となる本文中の言葉を具体的に挙げて説明できるように、手がかりとなる表現にはサイドラインを引くようにする。</p> <p>○ 机間指導の際には、なぜ、そのような順序や材料になるのかを尋ねることで、書き抜いた文や本文の叙述と対比しながら動作化する意識を持続できるようにする。</p> <p>◎ 話し合いが円滑に行われているグループには、「ダムを作る」場面でのビーバーのすごさや大変さについて話し合うように助言する。</p> <p>◎ 話し合いがままならないグループには、着目させたい言葉を示して、動作化をしながら考えるように助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>書き抜いた文の内容をとらえ、作業の順序を考えながら「ダムを作る」場面の内容を読むことができる。 (ワークシート・発表・観察)</p> </div> <p>○ 着目させたい言葉を確認しながら正しい順序と材料を確認していくようにする。</p> <p>○ 一文で表されている文の中には、述語が二つ以上あるものもあり、別々の内容としていくつかの文に分けられることを確かめ、次時から活用できるようにする。</p> <p>○ 一人一人が、再度、ワークシートを確かめる時間をとることで、個の読み取りの深化やつまづきが見とれるようにするとともに、個の学習のまとめとする。</p> <p>○ 次時では、ダムを作る場面についてビーバーのすごさや大変さについて話し合い、順序と内容の大体を読むことを確認する。</p>

④	③	②	①

「お話ハウス」

( ) ばん ( )

「何を「つたえる」ために、「どんなことを」「どんなじゆんじよで」書いてあるのか  
 なあ？ 学しゆうをすすめながらお話ハウスをかんせいして、ナゾをといいていこう！

( )

必要のない材料	着目させたい表現や内容
直径25cm程度の石	「おもし」→ビーバーの体の大きさでは運べない。
直径2cm程度の石	「おもし」→おもしにならない。
両方がとがっている木	「とがった方をさしこんで」→とがった方なので、一方はとがっていない。
一方だけとがっていて短い木	「木をくわえたまま」→前の場面から葉がついた木でなくてはならない。
一方だけとがっていて太い木	「くわえたまま」→くわえられない。

〈動作化に必要な材料〉



〈動作化に必要な材料〉

